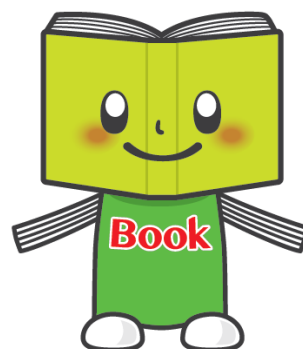


2022年も読書週間（10/27～11/9）がはじまります！

夢図書館・図書室のチャレンジ！読書クイズ

このリストのオススメの本のクイズに挑戦して
おたのしみプレゼントをゲットしよう！

しらさわ夢図書館・中央公民館図書室・学校図書館
にある本をかいて、本を読んでクイズにこたえてね！



「モトムくん」

また、クイズにあたらなくても、期間中（10月27日～12月5日）にリ
ストにのっている本を**3さつ**いじょうよむと、おたのしみプレゼントがもら
えるよ！

（おといあわせ先） 本宮市立しらさわ夢図書館 TEL44-2112 FAX44-4284

小学校1・2年生むきの本

「あしたもオカピ」

斉藤 倫：作 偕成社

シマウマににているけれどウマではなく、ツノがあるけどシカでもウシでもな
いふしぎなどうぶつオカピ。どうぶつのねがいかなんでもかなうよつば月のよる、
オカピは、さくのカギがあくようにねがいました。ねがいどおり、さくのそとに出た
オカピは、どうぶつたちのねがいかなうようすを見ていきます。ゾウがながい
はなをみじかくしたり、メガネザルがとしょかんで本をよむのを見ました。
さらに、オカピが森の中をあるいていくと、木の上にいるコアラに会いました。
コアラは、ぜったいにいけないうところについてみたいといっています。

読



（クイズ1）オカピのほんどうのねがいごとはどんなことだったでしょうか？

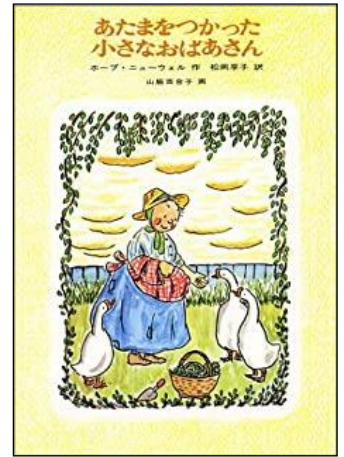
こたえ：（ ）ということ

「あたまをつかった小さなおばあさん」

読

ホープ・ニューウェル：作 松岡 享子：訳 福音館書店

小さなきいろいいえにすむ小さいおばあさんは、たいへんびんぼうでした。でも、あたまをじょうずにつかいくらしていました。おばあさんがあたまをつかうときは、ぬれタオルであたまをしっかりしぼります。そして、いすにすわり、ひとさしゆびをはなのよこにあてて目をつぶり、かんがえます。この本には、このようにしておばあさんがくらしのなかでおこるもんだいをゆかいにかいけつするおはなしが10話はいっています。



(クイズ2) おばあさんが、あたまをやすめるためにすることはどんなことでしょうか？

こたえ：() こと

「ポタンのくに」

読

なかむらしげお・にしまきかやこ：作 こぐま社

うさぎのぬいぐるみのぴよんは、赤いポタンの目をつけています。いつもあこちゃんとなかよくあそんでいます。

ある日、あこちゃんといっしょにあそんでいると、ぴよんの目の赤いポタンが1つとれて、草むらにおちてしまいました。ころころころがった赤いポタンは、穴のようなところにおちました。赤いポタンが立ちあがって、きれいなひろばにいくと、いつつごのきいろいポタンたちがいました。赤いポタンがおちたところは、ポタンのくにだったのです。赤いポタンは、きいろいポタンたちといっしょにきしゃにのってゆうえんちへでかけることになりました。



(クイズ3) 赤いポタンときいろいポタンたちをかごの中にかくしてくれたのはだれですか？

こたえ：()

「もりのたいしょうははりねずみ」

読

モーラ・フェレンツ：作 レイク・カーロン：絵 偕成社

はりねずみとくまのでこぼこコンビのおはなしが、2つ入っています。

「もりのたいしょうははりねずみ」・・・森のまん中の木のてっぺんで、キツツキがいもむしたちの家のドアをじゅんばんにたたいています。キツツキがいもむしたちに声をかけながらドアをたたいていると、下のほうから、ひくいうなり声がきこえてきました。その声の正体は、くまだったのです。くまはキツツキに、「この森のたいしょうはだれだ？」とききました。すると、キツツキは「このもりのたいしょうは、はりねずみさまだよ！」とこたえました。



(クイズ4) はりねずみが、森のどうぶつたちやかいうとに向かってさけんだことばは、なんですか？

こたえ：()

「竹とぼくとおじいちゃん」

読

星川ひろ子・星川治雄：作 ポプラ社

小学校1ねんせいのつばさが6がつさいごの土よう日におじいちゃんと、はたけでおべんとうをたべていました。すると、おじいちゃんから、おべんとうにはいつている竹の子がうら山でとれることおしえてもらいます。おじいちゃんと竹の子をとりに行ったつばさはそこで、1ぼんの竹の子をかんさつすることになりました。ちいさかった竹の子は10日でつばさのせのたかさとおなじになりました。はる、おいしくたべていた竹の子が、あきになるとべんりなどうぐやおもちゃになります。つばさはおじいちゃんと竹とんぼをつくることになりました。



(クイズ5) 本の中で、おじいちゃんがこどものころ竹でつくったおもちゃが竹とんぼのほかにも2つできます。なにとなにでしょう。

こたえ：() ()

「トラのじゅうたんになりたかったトラ」

読

ジェラルド・ローズ：文・絵 岩波書店

むかし、インドのジャングルにトラがすんでいました。すっかりとしをとって、えものがとれなくなってしまったので、やせていました。よるになるとトラは、よく王さまのきゆうでんに行きました。まどから中をのぞくと、王さまとかぞくがおいしそうにごはんをたべています。トラはそれを見て、なかまに入りたいとうらやましく思っていました。

ある日、めしつかいがきゆうでんのにわにじゅうたんをほしているのを見て、トラはよいことを思いつきました。



(クイズ6) トラはとどろくようなこえでほえたあとになにをしたでしょうか？

こたえ：()

「ねずみのとうさんアナトール」

読

イブ・タイトス：文 ポール・ガルドン：絵 童話館

アナトールは、パリのちかくのねずみ村におくさんと、6にんの子どもたちといっしょにくらしています。まいにち夕がたになると、ねずみのとうさんたちは、かぞくのために食べものをさがしに行きます。ある夜、にんげんのいえに入りこみだいどころでのこりものをさがしていると、となりのへやからねずみをけいべつするこえが聞こえてきました。にんげんにあんなふうと思われていたなんて…アナトールはひどいショックをうけます。なにかにんげんにおかえしができないかと、おくさんと話しているときにすばらしいかんがえがうかびました。



(クイズ7) にんげんにおかえしをするため、アナトールはどこへいったのでしょうか？

こたえ：()

「あくたれラルフ」

読

ジャック・ガストン：作 ニコール・ルーベル：絵 瑞雲社

セイラが持っているねこのラルフは、どうしようもないあくたれ(いたずらっこ)でした。ブランコのきをきってしまったたり、セイラのパーティーにでていたクッキーをぜんぶひとくちずつかじって、パーティーをだいなしにしたりしました。

ある日、ラルフをつれてかぞくでサーカスをみにいきます。ここでもラルフは、おおあばれをしてしまいます。おとうさんはおこって、ラルフをサーカスにおいていくことにきめます。



(クイズ8) さいごに、ラルフはどうしてもおかあさんがつくったあるしょうがでてくると、あくたれてしまいます。なにをつくったときでしょうか？

こたえ：()

「ママ、ママ、おなかがいたいよ」

読

レミイ・シャーリップス：作 つほい みく：訳 ほるぷ出版

「ママ、ママおなかがいたいよ。おいしゃさんよんで」と、こどもがおかあさんにいます。みると、こどものおなかがふうせんみたいにパンパンにふくれていました。

おいしゃさんが、こんなびょうきみたことがないといって、こどものおなかをしらべてみると、たった1つのあおりんごがでてきました。けれども、おなかは、まだふくれたままです。こどものおなかの中からつきからつきへといろいろなものがでてきます。

かげ絵のような絵がありえないようなお話をさらにおもしろくさせています。



(クイズ9) こどものおなかのなかから、いちばんさいごにでてきたものはなんのでしょうか？

こたえ：()

「いろいろへんないろのはじまり」

読

アーノルド・ローベル：作・絵 富山房

ずっとむかし、「いろ」というものがなく、ほとんどが「はいいろ」や「白いろ」「くろいろ」でした。これでは、雨がやんで日がたってても分かりません。

ある日、まほうつかいが、つぼの中をかきまぜていると、みょうなものができました。そのいろを「あおいろ」とよぶことにしました。すると、せかいじゅうがたちまち「あおいろ」になりましたが、人々はわらなわなくなりしました。そこで、こんどは「きいろ」をつくりますが、目がチカチカしたり、あたまがいたくなってしまいます。



(クイズ10) まほうつかいがまざりはじめた色をみて、とびあがってよろこんだあと、どのようにおどきましたか？

こたえ：()